

田中城跡・御成街道 史跡マップ

- ① 馬場・馬見所
- ② 新宿木戸跡
- ③ 新宿一の門跡
- ④ 三日月堀跡
- ⑤ 新宿二の門跡
- ⑥ 本丸跡
- ⑦ 御殿跡
- ⑧ 大手二の門跡
- ⑨ 二の堀
- ⑩ 大手一の門跡
- ⑪ 三の堀・土塁跡
- ⑫ 三の堀
- ⑬ 姥ヶ池
- ⑭ 松原木戸跡
- ⑮ 日知館跡
- ⑯ 三の丸土塁・家老屋敷跡
- ⑰ 三の丸土塁
- ⑱ 平島一の門跡
- ⑲ 平島木戸跡
- ⑳ 馬上の清水
- ㉑ 八幡橋
- ㉒ 鬼島一里塚跡
- ㉓ 勝退敷跡
- ㉔ 旭傳院の山門
- ㉕ 東木戸跡
- ㉖ 下屋敷跡



㉒ 鬼島一里塚跡
藤枝市内には、江戸時代の東海道一里塚跡が四箇所あります。

須賀神社のクス
(県指定天然記念物)
旧東海道に接した、須賀神社の御神木です。根回り15.2m、樹高23.7m。

青山八幡宮
江戸時代を通して田中藩主及び藤枝宿の惣鎮守となり、厚く庇護されました。

㉓ 勝退敷跡
かつて鬼島村の小柳津源六の屋敷内に、方50間(約90m四方)の広さの竹林があり、勝退敷と呼ばれていました。徳川家康が関が原の戦いのときにこの竹を旗竿として出陣し、見事勝利して以来、吉例として大坂の陣にも旗竿を献上したといわれています。

旧東海道松並木
ここや岡部町内谷、上青島、鬼島一里塚跡などには東海道の松並木が残っており、当時の面影をとどめています。

⑱ 平島一の門跡
江戸時代になると、藤枝宿へ通じる藤枝口が大手口(正門)となりました。そのため平島一の門は使われなくなり、「開かずの門」とも呼ばれました。

⑯ 三の丸土塁・家老屋敷跡
田中城の三の丸を取り囲むように築かれたのが、三の丸土塁です。記録によれば、総延長544間(約980m)ありました。この場所は、本多家譜代の家老・馬淵新右衛門の屋敷跡に当たります。

⑭ 松原木戸跡
酒井忠利が整備した、藤枝宿から田中城へ通じる大手道の城の入口です。道の両側に松を植えたので松原木戸と呼ばれました。

⑳ 馬上の清水
今でもきれいな水が湧き出ています。徳川家康は鷹狩りで田中城に立ち寄ったとき、のどが渇いたので家来にこの水を汲ませ、馬に乗ったまま飲んだので、この名前が付けられたといわれています。この池は、遠く駿府などからの使者が登城するとき、城を目の前にして旅姿を整えたり、馬に水をやりたりして登城の心構えをした場所といわれています。

⑬ 姥ヶ池
きれいな水が今でも湧き出しています。ここから木や竹で作った水道管を城内まで延ばして上水道を引いていました。

② 新宿木戸跡
六間川を境にして北側が城内、南側は下級武士たちの侍屋敷がある新宿でした。

㉔ 旭傳院の山門
田中城にあった門が移築されたといわれています。その規模や構造からみて、城門ではなく城内にあった屋敷の門ではないかと考えられています。

注記

-  スーパーマーケット
-  ドラッグストア
-  コンビニエンスストア

